

労働科学研究費補助金（難治性疾患等政策研究事業）
（分担）研究報告書

難治性血管腫・血管奇形・リンパ管腫・リンパ管腫症および関連疾患についての調査研究

研究分担者 杠 俊介 信州大学医学部形成再建外科学教室 教授

研究要旨：研究班の分担研究者として班会議に出席し、班全体の研究活動に関して審議を行った。重症乳児血管腫、リンパ管奇形や毛細血管奇形を伴う混合型血管奇形（クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群など）患者へのオーダーメイド弾性装具他の複合治療の効果を検証した。

A．研究目的

本研究は血管腫・血管奇形・リンパ管腫・リンパ管腫症およびその関連疾患を対象とする。これらの疾患には長期にわたり患者のQOLを深刻に損なう多くの難治性の病態が含まれる。これらの難治性血管腫・脈管奇形に関して、関連各学会、患者団体の意見を統合して提言し、広く医学会・社会の認知を得ることを目的とする。さらに治療法が確立していない難治な病態を呈している患者たちの生活の質を向上するための症状緩和療法や病状コントロールの手法を開発し、それらを患者たちに経済的地理的不利無く提供できるような制度を模索する

B．研究方法

研究班の分担研究者として班会議に出席し、班全体の研究活動に関して審議を行った。自身が診療している重症乳児血管腫、リンパ管奇形や毛細血管奇形を伴う混合型血管奇形（クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群など）患者にオーダーメイド弾性装具他の複合治療を行った。

（倫理面への配慮）

集計されたデータは、「連結可能匿名化された情報」「人体から採取された試料等を用いない」「観察研究である」「被験者の心理的苦痛を伴わない」ものであった。人権擁護については厚生労働省の「疫学研究における倫理指針」「臨床研究に関する倫理指針」に準拠しており、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守した。

C．研究結果

オーダーメイド弾性装具と漢方薬複合療法により浮腫と炎症が抑制され、整容性・疼痛コントロール・感染コントロールに有効であった。

D．考察

漢方薬は脈管奇形の浮腫と炎症の抑制に有効であった。オーダーメイド弾性装具は圧迫したい部位を自由にデザインできた。現時点で根治する手立てのない難治性の脈管奇形の症状緩和と本複合療法は患者の生活の質を維持するのに有効であった。福祉や公的扶助などの社会制度を含めた継続した緩和コントロールを担保することが重要である。

E．結論

難治で重症な混合型脈管奇形の症状緩和に弾性装具は重要で、それを負担なく患者に届ける制度の整備は急務である。

F．健康危険情報

（総括研究報告書にまとめて記入）

G．研究発表

1. 論文発表
2. 学会発表
3. その他

星野夕紀、永井史緒、杠俊介他：オーダーメイド圧迫装具と漢方内服による下肢血管奇形の緩和治療 第14回日本血管腫血管奇形学会学術集会，郡山，2018年7月13-15日

杠俊介：「難治な血管腫・脈管奇形に対する症状緩和療法」，平成30年度 厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患政策研究事業）市民公開講座，福岡，2018年3月3日）

H．知的財産権の出願・登録状況

該当なし